



誓いのことばを述べる
北村さん

祝 令和7年 香美町二十歳のつどい

1月12日、香住区中央公民館で「令和7年香美町二十歳のつどい」を行いました。民法の改正により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられていますが、本町では引き続き、当該年度中に20歳を迎える人を対象として「二十歳のつどい」を開催することとしています。

今年の対象者は、平成16年4月2日～平成17年4月1日までの間に生まれた町内在住者および町内の小中学校・高校に在学したことがある人、計174人（香住区114人、村岡区46人、小代区14人）。このうち139人（香住区89人、村岡区37人、小代区13人）が、色とりどりの振り袖や羽織はかま、真新しいスーツに身を包み、式典に出席しました。式典前には、久しぶりに会う友人と再会を喜び合い、思い出話に花を咲かせたり写真を撮ったりと旧交を温めていました。

式典で浜上町長は「若さと勇気、そして情熱を持って、たくましく生きている皆さんのその姿は、皆さんが考えている以上に後輩の手本となっているだけでなく、社会全体の活気にもつながっています。これから先の人生で、時には乗り越えられない高い壁にぶつかり、何度も失敗し、悩み、苦しむこともあるかも知れません。しかし、最後まで決して諦めない心を持ち続け、自分の夢に向かって進んでいってください」とエールを送りました。

その後、二十歳を代表して田村佑市郎さん（小代区）と坂中心さん（村岡区）が記念品を受け取り、北村快斗さん（香住区）が誓いの言葉を述べました。

北村さんは「私たちは、今日に至るまで多くの人に支えられ、たくさんの喜びや幸せを感じながら生きてきました。その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生活の多くの行事やイベントが縮小・中止となるなど、当時高校生だった私たちにとって、とても貴重な時間を奪われました」とこれまでのことを振り返りました。続けて「しかし、これからの人生には、これまで経験したことのない多くの試練や困難が待ち受けていると思います。私たちは、それらに屈することなく、力強く生きていかなければなりません。そのためにも、私たち一人一人が責任を持った行動を取り、仲間と共に成長できるかっこいい大人になりたいと思います」と力強く決意を新たにしました。



浜上町長から記念品を受け取る田村さんと坂中さん

